

主日礼拝

2022年11月27日
午前10時30分

前奏 「パストラール」より第3曲 アリア
(J.S.バッハ)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「9 城門よ、頭を上げよ
とこしえの門よ、身を起こせ。
栄光に輝く王が来られる。
10 栄光に輝く王とは誰か。
万軍の主、主こそ栄光に輝く王。」 (詩編 24:9-10)

点火 242-1

「主を待ち望むアドヴェント」1節

1.~4. しゆを まちのぞむ アドヴェント
1. さいしょのろうそくとも そうしゆがみちをそな
えられた このときをまもろう
1.~4. しゆのた みよ よろこべ しゆはち かい

リタニー「アドヴェントのリタニー①」

司式者：天使の知らせを聞いて、
会衆：マリアは、喜びでいっぱいになりました。
司式者：イエスさまが、うまれたことを知って、
会衆：はかせたちも、ひつじかいたちも、喜びで
いっぱいになりました。
司式者：イエスさまがうまれるという知らせは、
会衆：わたしたちを喜びでいっぱいにします。
司式者：イエスさまのお誕生は、
一緒に：わたしたちの喜びです。アーメン。

祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 230 「起きよ」と呼ぶ声

Wachet auf, ruft uns die Stimme
詞：Philipp Nicolai, 1556-1608

WACHET AUF
曲：Philipp Nicolai, 1556-1608

1 「おきよ」とよぶこえ、 「めざめよ、エルサレム」。
2 めざめしおとめら よろこびてそなえぬ、
3 「グロリア」とたたえよ、 みつかいらとともに、
ものみらさけびて、 やみよをつらぬき、
ものみらのこえに。 さかえにかがやく
たてごとかなでて。 主のみざめぐりて
ひびきわたるこえよ。 「そなえよ、おとめら」。
はなむこなる主イエス いまこそきましぬ。
つどうせいとたちと うたごえあわせて。
いざ、ともしび たかくかかげハレルヤ。
ひととなりしかみのみ子よ、ホーサナ。
いまだしらぬこのよろこび、ハレルヤ。
はなむこむかえよ、いわいのうたげに。
せいなるうたげによろこびあずからん。
われらもうたもてほめたたえよ、アーメン。

- 「起きよ」と呼ぶ声、「めざめよ、エルサレム」。
夜警ら叫びて、
闇夜をつらぬき、ひびきわたる声よ。
「備えよ、おとめら」。
いざ、ともし火 高くかかげ ハレルヤ。
花婿迎えよ、祝いの宴に。
- めざめしおとめら 喜びてそなえぬ、
夜警らの声に。
栄えに輝く 花婿なる主イエス
いまこそ来ましぬ。
人となりし 神のみ子よ、ホサナ。
聖なる宴に よろこびあずからん。
- 「グロリア」とたたえよ、みつかいらとともに、
たてごとかなでて。
主の御座めぐりて 集う聖徒たちと
うたごえあわせて。
未だ知らぬ この喜び、ハレルヤ。
われらもうたもて ほめたたえよ、アーメン。

聖書 エレミヤ書 33:14~16 旧約 (新共同訳) p1241



14 見よ、わたしが、イスラエルの家とユダの家に
恵みの約束を果たす日が来る、と主は言われる。
15 その日、その時、わたしはダビデのために正義
の若枝を生え出でさせる。彼は公平と正義をもつ
てこの国を治める。16 その日には、ユダは救われ、
エルサレムは安らかに人の住まう都となる。その
名は、『主は我らの救い』と呼ばれるであろう。

説教 「やって来る希望」

賛美 244(1,4,5)「キリストは明日おいでになる」


《演奏曲目》

「とうとし聖体」・「主の祈り」・「主よ、クリスマスの喜びよ」・
「さやかに星はきらめき」・「神のみこはこよいしも」ほか

クワイヤアイリス

広島女学院クワイヤOGを中心に1996年に結成した女声合唱団。指導、指揮は声楽家 小玉妙先生。レパートリーは宗教曲、黒人霊歌、小玉好行作品集など。2021年には結成25周年記念演奏会を予定していましたが、新型コロナ感染拡大のため、練習・演奏会は中止せざるを得ませんでした。今回3年ぶりに演奏させていただき、感謝します。

Tomorrow Christ is coming
詞：Fred Kaan, 1929— POTTER
曲：Doreen Potter, 1925—1960



① キリ
② リ
③ ス
④ ク
⑤ リ

- ① キリストは明日 おいでになる、
この世が闇に 閉ざされても、
客間はあふれ 余地なくても、
きのうこられた み子のように。
- ② この世はいまも あらたまらず、
み子はこられる うまやのなか。
十字架に主を くぎづけにし、
墓におさめた 時のままだ。
- ③ 明日はみんなの クリスマスだ。
み神の愛の 祝いの日だ。
救いの星は 空に照るが、
世の人は主を かえりみない。
- ④ 明日を持たない ひとびとにも、
生命のパンが あたえられる。
そのみからだが 示すものは、
また来たりたもう 復活の主だ。
- ⑤ み子キリストは いつの世にも、
みどり子として おいでになる。
その約束を 果たすために、
わたしたちをも 用いられる。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」

会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン



アーメン アーメン アーメン

後奏 「起きよ、と呼ぶ声」 (J.S.バッハ)

司式 福原 之織
説教 向井 希夫牧師
奏楽 高橋 孝子

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。